

目標達成計画

作成日: 平成 22 年 4 月 5 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	小学生・中学生の生徒のボランティアや・職場体験の受け入れができていない。	年に3回位はボランティアや職場体験の受け入れが可能な計画を立てる。	スタッフの子供(中学生)達によるレク希望があるので依頼をする事から初め、その後は担任の先生を通じて希望者を募り2回、3回とつなげてみる。	2ヶ月
2	10	家族に記入してもらった面会簿が個別になっていない。	個人情報の観点に基づき必要応じがあれば変更する。	系列の各グループホームのリーダーとも相談し様式統一とその内容の検討をする。	3ヶ月
3	34	ホーム内での研修の強化。	常に向上心を持って、知識を高めていく様に月に一度程度の勉強会を開催するように計画をする。	外部の勉強会の報告も含め、内部での虐待・拘束・認知症の対応の勉強会と緊急時の応急処置等の実践訓練研修を行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。